ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

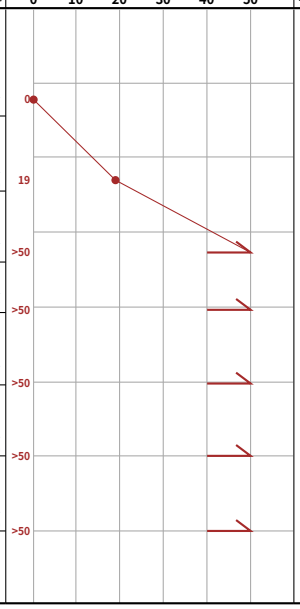
シートNO.

ボーリング名	B-2	調査位置				北　緯	36 ° 27 ' 8.6300 "
発注機関	栃木県　真岡土木事務所		調査期間	2008-07-16 ～ 2008-07-18		東　経	140 ° 08 ' 19.0700 "
調査業者名		主任技師	現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	158.97 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 20.00 °
総掘進長	7.00 m	使用機種	試錐機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	158.62	0.35	0.35		表土 (SF)	黒			非常に軟質な有機質火山灰土である。		
1					砂混り火山灰土 (VA-S)	灰			沢作用による2次堆積物である。 有機質に富み、非常に軟らかい。 全体に未腐植物を多量に混入する。 局所でφ1～2mm程の細礫を点在する。		07/16 1.00
2	156.72	1.90	2.25		風化岩 (WR)	暗褐灰			砂岩の強風化部である。 コアは粘土状を主体とする。風化・変質が岩芯にまで及び、原岩組織を殆ど残さない。GL-3.0m以深、粘土化進行がやや弱まる。		
3	155.57	1.15	3.40		砂岩 (S)	褐灰			土砂用ビット(メタルクラウンビット)で掘進可。 コアは5～10cmの棒状コアを主体とするが、局所では網状亀裂の発達により角礫状コアで採取される。 風化・変質は亀裂目に沿って見られる程度で岩芯にまでおよぶ箇所は殆ど認められない。 GL-6.0m以深、新鮮さが感じられ、母岩強度を上昇する。(ハンマー打撃で金属音を発する硬度に該当)		
4											
5											
6											
7	151.97	3.60	7.00			暗灰 褐灰					

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.00			00／45	0／45	0
1.45					
2.15	1	6	12	19／30	19
2.45					
3.15	26	14	10／5	50／25	>50
3.40					
4.00	50／7			50／7	>50
4.07					
5.00	50／5			50／5	>50
5.05					
6.00	50／0			50／0	>50
6.00					
7.00	50／0			50／0	>50
7.00					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						07/16
						07/17
						07/18